青森市高齡者福祉 · 介護保険事業計画第7期計画 進捗状況

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第7期計画 進捗状況の概要

〇平成30年度自己評価結果一覧

	基本方向	施策番号	施策名	自己評価	ページ番号
		1-1	健康寿命の延伸	×	2
第1章	健康づくりと介護予防の強化	1-2	介護予防・重度化防止の推進	0	3
		1-3	自立した日常生活の支援	0	4
		2-1	医療・介護連携の推進	Δ	5
第2章	保健・医療・福祉が一体となっ た地域包括ケアシステム構築の	2-2	認知症施策の推進	0	6
	加速と地域福祉の推進	2-3	地域包括支援センターの機能の充実	0	7
		2-4	地域支え合いの推進	0	8
第3章	尊厳が守られる暮らしの実現	3-1	権利擁護の推進	0	9
− − − − − − − − − − − − − − − − − − −	与 風がいり40分替りしの表現	3-2	虐待防止対策の強化	0	9
		4-1	見守り体制の充実	0	10
		4-2	住まいの充実	0	11
第4章	安全・安心な暮らしの実現	4-3	災害時等支援の充実	0	12
		4-4	交通安全活動の推進	0	13
		4-5	消費生活相談の充実	0	13
		5-1	施設・居住系サービスの整備	0	14
第5章	介護サービスの充実	5-2	サービス提供体制の確保	0	15
		5-3	介護保険料収納率の向上	0	16

施策数:17

区分ごとの内訳

自己評価	施策数	
0	13	(76%)
0	2	(12%)
Δ	1	(6%)
×	1	(6%)
計	17	(100%)

<評価基準>

\H H Z	• •				
区分	評価基準	目安			
△万	計圖基毕	目標とする指標の達成率			
0	順調に進捗している	達成率80%以上			
0	概ね順調に進捗している	達成率60%~79%			
Δ	やや進捗が遅れている	達成率30%~59%			
×	進捗が遅れている	達成率29%以下			

- ・自己評価に当たっては、達成率を基本に事業の実施状況等を踏まえ総合的に評価します。
- ・目安は、進捗状況を確認するための基準として県から示されたもので、県内一律となっています。

青森市高齢者福祉・介護保険事業計画第7期計画 進捗状況

第1章	健康づくりと介護予防の強化		
施策番号	1-1	施策名	健康寿命の延伸

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
1-1	○ 市康進○ すば○ すば○ 事が○ 自動の○ 自動の<td>(市民を対象としたがん検診の対象者のうち受診した市民の割合) 胃がん 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 7.5 31.9 34.6 37.3 40.0 実績値 % 7.5 7.2 6.8</td><td> ○壮年期健康教育事業 ・壮年期健康教育総参加者数 10,127人 (H29:9,842人) ○大腸がん検診事業 ・大腸がん検診受診率 14.2% (H29:15.6%) ○健康度測定総合指導事業※ ・利用者数 52,440人 (H29:51,880人) ※事業内容 生活習慣病の予防及び健康増進を図ることを目的に、体力測定等データ等に基づく生活指導や栄養指導のほか、個人の健康度に応じた運動プログラムを作成し、トレーニングマシン等を使用した運動実践指導等を行っています。 ※「運動習慣がある市民の割合」及び「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合」の実績値について引用:特定健診・特定保健指導実施結果法定報告の実績値。 平成30年度実績値は11月に確定予定。 </td><td>×</td><td>ス康図歯師士教り活健すし講壮総し ・て診参関携協し受受(ルト啓こ ・指数 な命市取ものにず診り教る科、な育り改康るた座年参た が、モ加、し会た診診コ)等発と 健導が どの民組の受は、率テ養た医保どや一善づ人地に期加こ ん県デや健たけ被勧勧一、にに 康事増 か延のはの診至目のラ)め師健に、ダ推く材域取健者と 検大ル、診受ん扶奨奨ル各お取 度業加 ら伸普進、行っ標進シの、、師よ健一進り等でり康数 診腸事医機診ぽ養、・・種いり 測のし 、に及んが動てと捗一向医薬、る康・員をとの組教が にが業療関勧と者個再リイて組 定利た 健向啓でんのおすは(上師剤栄健づ食な推連健み育増 つんへ機と奨連へ別勧コべ普ん 総用こ 康け発い検促らる遅健をや 養康く生ど進携康、の加</td><td>下年が国あがもしり は減これる健ダタ員連の率保タたし要 (M) がいりの全、ま大、少とてこ康一一、携多の被一受てで 健慢での一、に国高す腸がにがいとづ・、関しい低保ゲ診いす 康治時亡ト市る準状 ん死果ら検らりポ健団が代地者ト奨こ 測を一大が位大亡比に 診率あにで市一 力等罹受、、絞強が 総28腸全で腸率較あ のるさあ、 と患診国 っ化必 合</td><td>○ 大震なすいコ診 によと健学 検と 利択 をおいる とは で という で という で という で という で といっして は あいま で という という で と</td>	(市民を対象としたがん検診の対象者のうち受診した市民の割合) 胃がん 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 7.5 31.9 34.6 37.3 40.0 実績値 % 7.5 7.2 6.8	 ○壮年期健康教育事業 ・壮年期健康教育総参加者数 10,127人 (H29:9,842人) ○大腸がん検診事業 ・大腸がん検診受診率 14.2% (H29:15.6%) ○健康度測定総合指導事業※ ・利用者数 52,440人 (H29:51,880人) ※事業内容 生活習慣病の予防及び健康増進を図ることを目的に、体力測定等データ等に基づく生活指導や栄養指導のほか、個人の健康度に応じた運動プログラムを作成し、トレーニングマシン等を使用した運動実践指導等を行っています。 ※「運動習慣がある市民の割合」及び「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合」の実績値について引用:特定健診・特定保健指導実施結果法定報告の実績値。 平成30年度実績値は11月に確定予定。 	×	ス康図歯師士教り活健すし講壮総し ・て診参関携協し受受(ルト啓こ ・指数 な命市取ものにず診り教る科、な育り改康るた座年参た が、モ加、し会た診診コ)等発と 健導が どの民組の受は、率テ養た医保どや一善づ人地に期加こ ん県デや健たけ被勧勧一、にに 康事増 か延のはの診至目のラ)め師健に、ダ推く材域取健者と 検大ル、診受ん扶奨奨ル各お取 度業加 ら伸普進、行っ標進シの、、師よ健一進り等でり康数 診腸事医機診ぽ養、・・種いり 測のし 、に及んが動てと捗一向医薬、る康・員をとの組教が にが業療関勧と者個再リイて組 定利た 健向啓でんのおすは(上師剤栄健づ食な推連健み育増 つんへ機と奨連へ別勧コべ普ん 総用こ 康け発い検促らる遅健をや 養康く生ど進携康、の加	下年が国あがもしり は減これる健ダタ員連の率保タたし要 (M) がいりの全、ま大、少とてこ康一一、携多の被一受てで 健慢での一、に国高す腸がにがいとづ・、関しい低保ゲ診いす 康治時亡ト市る準状 ん死果ら検らりポ健団が代地者ト奨こ 測を一大が位大亡比に 診率あにで市一 力等罹受、、絞強が 総28腸全で腸率較あ のるさあ、 と患診国 っ化必 合	○ 大震なすいコ診 によと健学 検と 利択 をおいる とは で という で という で という で という で といっして は あいま で という という で と

第1章	健康づくりと介	:護予防の強化	
施策番号	1-2	施策名	介護予防・重度化防止の推進

- 〈評価基準〉 ()内は評価の目安 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上) 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%) △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%) × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

					メ 進捗が進れてい	ヽ る(目標とする指標の遺	[队平29%以下)
施策番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
1-2	○住民主体の介護予防活動の推進○多様な介護予防の場の提供○重度化防止の推進	(第1号被保険者数に対する要介護・要支援認定者数の割合) 年度 単位 H29 H30 R1 R2 目標値 % 19.4 19.4 19.4 19.4 19.4 実績値 % 19.4 19.3 - - 達成率 - 100.5% - - - ○介護予防活動実施箇所数 (地区社会福祉協議会による介護予防活動実施箇所数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 箇所 47 55 58 61 63 実績値 箇所 47 59 81 - -	 ○一般介護予防事業 ・地区社会福祉協議会にロコモ予防体操等の指導者を派遣した回数 133回 (H29:137回) ・ボランティアポイントの「こころの縁側づくり事業」における活動者数と活動ポイント数460人、6,562ポイント (H29:297人、1,957ポイント ※H29.10~H30.2分) ○こころの縁側づくり事業 ・住民主体のつどいの場を開設した地区社会福祉協議会の地区数と開催箇所数38地区、81箇所 (H29:32地区、59箇所) ○地域ケア会議推進事業 ・地域ケア会議:173回 (H29:145回) ○介護サービス適正実施指導事業 ・ケアアラン点検:36件 (H29:55件) ・ケアマネジャー研修会の開催 開催日:H31.3.22、受講者数:190人、事業所数:98事業所 (H29:開催回数1回、受講者数:228人、事業所数:112事業所) ・生活援助の訪問回数の多いケアプランの届出・検証(平成30年10月から実施)ケアプラン検証会議開催回数:1回 (件数:5件) 		者認い高的活ど所上と順て第15年十分でのででから、これである。 おいらい おいり おいり おいり おいり おいり おいり おいり おいり おいり おい	と は は は に に に に に に に に に に に に に	ロやよ値コをいます。 地区では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、

第1章	健康づくりと介護予防の強化			
施策番号	1-3	施策名	自立した日常生活の支援	

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
1-3	○外出手段の確保○生きがいづくりの充実○高齢者の就業促進○多様な生活支援サービスの提供	○高齢者福祉乗車証を所持している高齢者数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 日標値 人 35,764 36,197 36,630 37,063 37,496 実績値 人 35,764 36,709 37,709 - - 達成率 - 101.4% 102.9% - - ②老人クラブ加入者数 (老人クラブ連合会に加入している単位老人クラブの会員数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 日標値 人 6,674 6,704 6,734 6,764 6,794 実績値 人 6,674 6,251 6,084 - -	 ○高齢者福祉乗車証交付事業 ・交付者 37,709名 (H29:36,709名) ・利用者数 延べ2,275,607名 (H29:延べ2,203,632名) ○老人クラブ活動育成事業 ・補助金を交付している老人クラブ数 200団体 (H29:203団体) ・会員数 6,444名 (H29:6,949名) (老人クラブ連合会に加入していない者含む。) ○シルバー人材センター運営費助成事業 ・会員数 1,214名 (H29:1,194名) ・就業率 72.8% (H29:80.5%) ○総合相談事業 ・相談件数 10,625件 (H29:10,252件) ○権利擁護事業 ・権利擁護に関する相談件数 105件 (H29:88件) 		市領る祉交、回と、しが、対の高車者標でと調いて、東付目のな順で、東付目のな順で、東付目のな順で、東付目のな順で、利高車者標でと調いがにまり、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは、対のは	ののり及少らとをま 長情りセのる数要地希多、びし、加図す 企な勢、ン減このが域薄様老加て老入る。 業どのシタ少と拡あな価どラ数こうのが 定るに一会込、図すが値にブがとブ拡あ 年社よ人員ま会る。り観よ数減か数大り 延会 材数れ員必	者数 額 増外の 金ほ 集介、 か 高会の員者数 額 増外の 金ほ 集介、 か 高会の員 を か持いす活 を ましたで周 を ました からました からまた からました からました からました からまた からまた からまた からまた からまた からまた からまた からま

第2章	保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進			
施策番号	2-1	施策名	医療・介護連携の推進	

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-1	○地域住民への普及・啓発○医療・介護関係者の連携促進○医療・介護が連携したサービスの充実	 ○医療・介護連携に関する出前講座開催回数(市や地域包括支援センターが地域の会合等の場で普及活動を行った回数) 年度 単位 H29 H30 R1 R2 目標値 回 10 12 12 12 12 実績値 回 10 6 達成率 - 50.0% ○在宅医療・介護等の多職種による連携会議やグループワーク等開催回数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 回 1 2 2 2 2 2 実績値 回 1 1 1 1 達成率 - 50.0% 50.0% 	○在宅医療・介護連携推進事業 ・医療・介護・福祉等の多職種による会議の開催 1回 (H29:1回) ・医療・介護等の多職種連携に関する研修会の開催 1回 (H29:1回) ・医療と介護に関する出前講座の開催 6回 (H29:10回)		連出回療の会数50やれ ・関座在護の開成あ捗ま ・関座在護の開成あ捗ま ・関略を連連催率りがす。	たで介に数連に減ら連くツす ・る介一てくててた療わにが ・る介一てくててた療わにが ・の、いのことか伝必 護講険の催療内座か護やるで ををとか伝必	地域包括できない。 とれる との との との との は との は との は との は との は との は

	第2章	保健・医療・福祉が一体となった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進			
ſ	施策番号	2-2	施策名	認知症施策の推進	

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-2	○認知症に係る知識の普及・啓発○認知症の早期発見・早期対応○支援体制の強化	○認知症サポーター養成講座を受講した累計人数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 人 12,586 14,771 16,956 19,141 21,326 実績値 人 12,586 14,915 17,583 - - 達成率 - 101.0% 103.7% - - ○認知症カフェ開催回数 (地域包括支援センターの認知症カフェ開催回数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 回 52 66 66 66 66 66 長績値 回 52 87 121 - - 達成率 - 131.8% 183.3% - -	 ○認知症高齢者対策事業 ・認知症サポーター養成講座の開催 85回開催 2,668人養成 (H29:76回 2,325人養成) ・iPadを使用した脳の健康チェックを実施 99回 891人(H29:71回 847人) ○認知症初期集中支援事業 ・認知症の方で適切な医療・介護サービスにつながっていない方を対象に、専門職がチームとなって集中的に支援する。の件(H29:1件) ○認知症地域支援・ケア向上事業 ・各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、医療・介護職員等を対象とした認知症に関する研修会を実施。8回(H29:2回) ・認知症カフェ等の開催各地域包括支援センターが地域の実情に合わせた認知症カフェを開催し、相談や認知症についての知識の普及。121回(H29:87回) ・かかりつけ医と看護師等を対象とした認知症スクリーニング研修の実施。3回(H29:0回) 		講座受講者数 の増加、各地 域包括支援セ ンターにおい ての認知症カ	がると認との活と おっこで知な中用な おうしょう かっという ですって おうしょう かいま 変要、一をよがま ですって かいま できない がます に 一域に 題。	認知し関介に 設対、、の後携援 症この不で はいのアはりし ム早まよ1、との 認れ係担るき 知症がました 中早でク見る援症 ととや互、知症がました 中早でク見る援症 との 関係ですがはがす な 中早でク見る援症 との とる関おうり 集のえッ発い支知す ととや互、組 を サースののこと 早 ととや互、組 を サースののこと 早 ととや互、組 を が、に のらー見 に とる関対が域で は し ととや互、組 を が、に のらー見 に とる関対が は で は が は で が な が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が が は で が な が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は で が は か が は で が は で が は で が は で が は か が は で が は で が は か が は で が は か が が が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が が は か が が が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が は か が が が が

	第2章	保健・医療・福	証が一体とな	いった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進
ſ	施策番号	2-3	施策名	地域包括支援センターの機能の充実

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策				自己評		日保とりる相保のと	
番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	価結果	評価理由	課題	対応策
2-3	○機能の強化○役割分担・連携 強化○効果的な運営の 継続○地域ケア会議の 推進	 ○相談窓口の認知度 (高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っている市民(40歳以上)の割合) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 58.6 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0	 ○総合相談事業 ・相談件数 10,625件 (H29:10,252件) ○権利擁護事業 ・権利擁護に関する相談件数 105件 (H29:88件) ○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 ・地域包括支援センターが地域の実情に合わせてネットワーク会議を開催 13回 (H29:24回) ○基幹型地域包括支援センター運営事業 ・人材育成を目的とした研修会の開催 1回 (H29:1回) ○地域ケア会議推進事業 ・地域ケア会議 173回 (H29:145回) 		指域議開標今るる各援お係ト成こ調い目標ケ・催を後とと地セい機ワさとにま標でア推回上も見と域ンて関ーれか進すとあ個進数回増込も包タは等クてら捗。する別会がり加まに括一、ネがい、しる地会議目、すれ、支に関ッ形る順て	地域包括支援での認用では、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、まれば、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のでは、大学のは、は、は、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは	度なこをの 域号をこ 評化営援に 地と域ア題った はいころ通周 包を掲と 価し審せしす 地関記できるいます。 おいこ会 がいこ会 がいこ会 がいこ会 がいこ がった でる容で の見ス包明で がまり がった がいかま ながい がった がいかま がいかま ながい がった がいかま がいかま がいかま がいかま がいかま がいかま がいかま がいかま

	第2章	保健・医療・福	証祉が一体とな	いった地域包括ケアシステム構築の加速と地域福祉の推進
ſ	施策番号	2-4	施策名	地域支え合いの推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
2-4	○地域で支え合う 意識づくり○支え合い活動の 推進	 ○地域福祉サポーター数(ボランティアポイント制度のもとで、ボランティア活動を行う地域福祉サポーター登録者数) 年度 単位 H29 H30 R1 R2 目標値 人 2,124 2,138 2,152 2,166 実績値 人 2,124 2,421 達成率	○生活支援体制整備事業 ○一般介護予防事業 ○地域福祉計画推進事業 ・地区カルテの整備・更新(市内全38地区の地区社会福祉協議会・地域包括支援センターに配付)・ボランティアポイント制度の創設・運用地域福祉サポーター登録者数:2,421人(H29:2,124人)※H29.10~制度開始・地域支え合い推進員の配置配置6人(H29:6人)、各地区の会議・研修等の活動参加数 592回(H29:502回)	©	ポの地ポ録302,値地い関あ ・えがき関イ実域一者年421上福のるた 域い区社者トに祉一はでとりの保果と 福推に会か勝よサの平は目りの保果と 祉進出福ら度り 登成 標、担にが 支員向祉の	を増の子すれ担るか数要 者市区れ推域い的の至地一え、高のてい懸らのが 地等内力、進活るか開って人齢進お手念、増あ 域の全ル地員動もつ催て社録る減のが、足あポをま 福画地が支様参の発まませ者も少ま見今がる一図す 社に区整え々加、なでせポ数の・す込後生こタる。 関よの備合なし自会はんっしょう は 少まま、じと一必 係り地さい地で主議。	マステンにのとくには、

第3章	尊厳が守られる	暮らしの実現	
施策番号	3-1	施策名	権利擁護の推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
3-1	○権利擁護意識の高揚○成年後見制度の利用促進○市民後見人支援体制等の強化	 ○総合相談の認知度 [再掲] (高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っている市民 (40歳以上) の割合) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 58.6 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0	 ○権利擁護事業 ・地域包括支援センターにおいて、権利擁護に関する相談に応じた件数 105件 (H29:88件) ○成年後見制度利用支援事業 ・市長申立件数 41件 (H29:54件) ・報酬助成件数 59件 (H29:28件) ・報酬助成金額 11,987,414円 (H29:6,300,416円) ○成年後見制度利用支援事業 (市民後見人養成) ・フォローアップ研修受講者数 52名 (H29:市民後見人養成講座受講者7名 フォローアップ研修受講者50名) 	©	の相談に適切	(相談窓口の認知 度)を増やしてい	地域包括支援センターの認知度は目標である70.0%に達していないことから、今後も引き続きこころの縁側事業などあらゆる機会を通じて、地域包括支援センターの周知に努めます。

第3章	尊厳が守られる	暮らしの実現	₹
施策番号	3-2	施策名	虐待防止対策の強化

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
3-2	○高齢者虐待防止の普及・啓発○高齢者虐待の早期発見・早期対応	 ○総合相談の認知度 [再掲] (高齢者の相談窓口である地域包括支援センターを知っている市民 (40歳以上)の割合) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 58.6 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 70.0 実績値 % 58.6 58.6 58.6	 ○高齢者虐待防止対策事業 高齢者虐待について通報等を受理した件数		待の相談・通報へ適切に対応した割合が100%となっており適切な支	係者、保健・医	高齢者虐待は、早期対応に繋がることが重要となることから、引き続き、地域包括支援センター、関係機関等との連携を図ります。

第4章	安全・安心な着	ふらしの実現	
施策番号		施策名	見守り体制の充実

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施第番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
4-1	○日常的な見守り体制の強化○行方不明高齢者の早期発見	○高齢者見守り協力事業者として市と協定を締結した事業者数 (累計)) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 事業者 20 22 24 26 28 実績値 事業者 20 20 25 達成率 - 90.9% 104.2% ○行方不明高齢者の相談・通報に適切に対応した割合 (関係機関との情報共有等、行方不明高齢者に関する相談・通報に適切な対応を行った割合) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 % 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 100.0 実績値 % 100.0 100.0 100.0 100.0 達成率 - 100.0% 100.0 %	 ○総合相談事業 ・近隣の高齢者に日常的な見守りや声がけを行う高齢者介護相談協力員数 1,021人 (H29:1,025人) ○高齢者等見守り体制確保事業 ・見守り協力事業者として協定を締結した事業者数 25事業者 (H29:20事業者) ・行方不明高齢者等の情報をメールマガジンにより配信した件数 7件 (H29:17件) 	©	者を業目ん ・齢通ル信切いと締者標で 行者報マ等にるし結数どい 方のにガに対こてしがおる 不相もジよ応と協た概りこ 明談メンりし定事ね進と 高・一配適て	民の方々に見守りであった。 大の協必要が認知は、 高何り自宅であるがいます。 高のはのができるがいますがいますが認知はできる。 高のはいるがいまではいる。 高のはいるがいますがいますが、これではいる。 はいるの名が、これではいる。 はいるの。 はいる。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいる。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいるの。 はいる。 はい。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 はいる。 は	令和元年度から、地域ぐるみの中ントルが、地域でもので中ントルがです。 やいますので中ントルがです。 やいますのでで中ントルがです。 をはいますができるででです。 をはいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 でいますができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののでするができます。 ののででするがでするができます。 ののでするができます。 ののでするができます。 ののででするがでするができます。 ののでするができます。 ののでするができます。 ののででするができます。 ののでするができます。 ののできます。 ののででするができます。 ののでするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののででするができます。 ののでするができます。 ののでするができます。 ののでするができます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 ののでは、これできます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいますができます。 のいまができます。 のいますができます。 のいまができます。 のいまができます。 のいまができます。 のいまができますができます。 のいまができます。 のいまができますができます。 のいまができますができます。 のいまができますができます。 のいまができますができます。 のいまができますができます。 のいまができますができますができます。 のいまができますができますができますができます。 のいまができますができますができますができますができますができますができますができま

第4章 安全・安心な暮らしの実現

施策番号 4-2 施策名 住まいの充実

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標		自己評 価結果		課題	対応策
4-2	○住宅改修等による 居住環境の充実○高齢者に適した住まいの確保	年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 件 911 922 933 944 956 実績値 件 911 880 787 達成率 - 95.4% 84.4% 〇養護老人ホーム入所待機者数 (養護老人ホームの入所待機者数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2	 介護予防住宅改修費支払事務 介護予防住宅改修 234件 (H29:278件) ○居宅介護住宅改修費支払事務 居宅介護住宅改修 553件 (H29:602件) ○社会福祉法人等による利用者負担額減免措置事業 利用者負担額減免助成 7件 助成額 541千円 (H29:9件、248千円) ○サービス付き高齢者向け住宅登録等事業 新規登録1件 (1施設31戸) (H29新規登録:0件) 平成30年度末現在計16施設490戸 ○小柳第一団地建替事業 小柳第一団地建会所の新築を行い、新築した建物には、エレベーター、手摺、スロープ及び多目的トイレの設置並びに床段差の解消のバリアフリー化に努めました。 ○養護老人ホーム入退所事務 本市入所者数 平成30年度 平成30年度 平成30年度		・支ね推こ・き住増こ・バ化る・支ね推こ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	様の住ス用適や要 宅がにう理居図築ま 由由生難しをあ 高な対宅トし切整が 高に市入、に住らすす 生及に活な、確り 者住と良クい管をり 者窮住で正め安る必 環経りる齢切すす 含るにる入な確制が 上的在とに住必むズ市住てめ修る。 むか円よ居ど保をあ のな宅が対ま要 かっぱ宅活の繕必 住た滑 管、が構り 理理で困 いが	老朽化しま業習のでは、床のでは、床のでは、床のでは、床のでは、床のでは、皮をです。 という は、皮をです。 という は、皮をのでは、皮をのでは、皮をのでは、皮をのでは、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、皮が、

第4章	安全・安心な暮	らしの実現	
施策番号	4-3	施策名	災害時等支援の充実

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
4-3	○災害時等における 地域福祉活動の充 実	 ○防災訓練に参加・協力したいと思う市民の割合) 年度 単位 H29 H30 R1 R2 目標値 % 58.4 68.0 78.0 88.0 実績値 % 58.4 60.4 達成率 - 88.8% 	 ○防災訓練事業 ・青森市総合防災訓練:参加住民211人(H29:参加住民186人) ○自主防災活動促進事業 ・自主防災組織結成町会:189町会(H29:184町会) ○福祉の雪処理支援事業 ・屋根雪処理費用の一部助成 121件 2,048,370円(H29:166件 3,156,950円) ○在宅一人暮らし高齢者等の雪処理対策事業 ・間口除雪9,538回(H29:間口除雪11,372回) ○青森市高齢者世帯等冬期除雪サービス事業 登録世帯数 51世帯(H29:54世帯) 延実施回数 1,434回(H29:1,846回) 	©	・にし市がおい ・練がどにのまこ ・理の な調い「参た民概りる 総の増、対関りと 福支実 どにま防加いのねとこ 合参加防す心つ 祉援施 か進す災・と割目なと 防加す災る度つ の事 ら捗。訓協思合標っ 災者る訓市があ 雪業 、し練力う」どて 訓数な練民高る 処等 順て	に訓要 組すす 家に根と世にき援あ 帯ビ雪で高参練が 更織る。 少族伴雪が帯あ続等り 青等ス協いがき施ま 自成が 齢進自理な増今処う。 高除でが。 前の、処難が、雪行す 市期業員すをあ 化展力す高加後理必 齢雪は不極防る。 防促り やなでる齢傾もの要 者サ、足をが炎必 災進ま 核ど屋こ者向引支が 世一除し	店が支援を検討した。 高齢い 高齢い 高齢い 高齢い 高齢い 高齢い 高齢い 高齢い

第4章	安全・安心な暮	らしの実現	
施策番号	4-4	施策名	交通安全活動の推進

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施音	策 ⇒ 主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
4-	○交通安全意識の啓発 ○交通安全教育の推進 4	 ○年間の交通事故死傷者数 (市内で発生した交通事故による年間死傷者数) 年度 単位 H27 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 人 1,005 963 922 884 847 810 実績値 人 1,005 1,015 952 914 達成率 - 94.9% 96.8% 96.7% 	○交通安全啓発・教育推進事業 ・高齢者対象交通安全指導の実施状況 開催回数 11回 (H29:10回) 参加者数 1,083人 (H29:510人)	©	る概りる ・交の を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	傷者数については 減少したものの、 死者数について	交通事故で亡くなった高齢者の うち、3人は歩行中、2人は自転車 乗車中に交通事故に遭っているこ とから、引き続き高齢者向け交通 安全教室の開催、街頭指導時の反 射材の配布などにより、高齢者の 交通安全意識の高揚を図ります。

第4章安全・安心な暮らしの実現施策番号4-5施策名 消費生活相談の充実

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
4-5	○消費者被害に関する知識の普及・啓発○消費生活相談機能の充実	○啓発事業などへの参加者数 (消費生活に関する各種啓発事業における参加者数) 年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 人 2,850 2,850 2,900 2,950 3,000 実績値 人 2,850 3,403 3,358 - 達成率 - 119.4% 115.8% - -	 ○消費者教育啓発活動推進事業 ・消費生活出前講座 22回 775人受講 (H29:15回 727人受講) ・消費者月間パネル展 1回 862人に啓発 (H29:1回 679人に啓発) ・特殊詐欺被害防止活動 2回 600人に啓発 (H29:2回 600人に啓発) ○消費生活相談事業 ・青森市民消費生活センターでの相談件数 1,589件 (H29:1,327件) ・青森市相談窓口紹介ネットワーク活動員を通じた 注意喚起情報提供 4回 1,121人に提供(提供はH30年度から開始) ・青森市相談窓口紹介ネットワーク活動員に対する 研修会 3回 121人(H29:3回 53人) 		目のでは、 目のでは、 目のでは、 になっまでででである。 というでは、 といるでは、 というでは、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると、 といると といると	しており、内容が 高度化・多様化し	引き続き、消費生活に関するトラブルの事例や対策等について市ホームページ等で周知するとともに、関係機関等との連携を図り、消費者に対する的確な助言やあっせんなどを行っていきます。

第4章 介護サービスの充実

施策番号 5-1 施策名 施設・居住系サービスの整備

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	=亚/亚亚中	課題	対応策
5-1	○施設・医性系・居住系・居住系・居住系一ビスの在実		○老人福祉施設整備費補助金交付事務 ・施設整備(認知症高齢者GH) 1件、交付額34,560千円 (H29:4件、237,416千円) ・スプリンクラー設備等整備(有料老人ホーム) 2件、交付額12,003千円 (H29:39件、21,287千円) ○施設開設準備経費補助金交付事務 ・認知症高齢者GH 1件 交付額11,178千円 (H29:4件、30,951千円) ○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業 平成30年度地域密着型サービス事業者の公募・選定結果 (件) サービス種類 公募件数 広募件数 産募件数 選定件数 地域密着型介護者人屬社施設入所者生活介護 2 2 1 認知症対応型共同生活介護 1 2 2 2 和護小規核多機能型居宅介護 2 2 2 和護小規核多機能型居宅介護 1 0 0 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 1 0 0 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 1 0 5		祉機どなの等助し応介小型設標でど順て	高も施がとに一一実要と祖教とに一一実のと社教とに一一実のと社教とに一一実のと、きやのめりと福者る計をく。	「地域短 「地域短 大看護」 「地域短 大看護」 大子。 大子。 大子。 大子。 大子。 大子。 大子。 大子。

第4章 介護サービスの充実

施策番号 5-2 施策名 サービス提供体制の確保

- <評価基準> ()内は評価の目安

 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評価結果	=====================================	課題	対応策
10 5 - 2	介護給付の適正化の推進○効果的な指導監督○介護サービスの質の確保○介護従事者の確保及び資質向上の促進	●要介護認定の適正化件数 (要介護認定の変更認定又は更新認定に係る認定調査の内容に関する原検件数) 「年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2 目標値 件 12,774 12,937 13,010 13,200 13,310 実績値 件 12,774 12,567 13,704 達成率	○介護サービス適正実施指導事業 ・介護給付適正化事業の実績:「目標とする指標」の実績値のとおり ・生活援助の訪問回数の多いケアプランの届出・検証(平成30年10月から実施) ケアプラン検証会議開催回数:1回(件数:5件)・ケアマネジャー研修会の開催開催日:H31.3.22、受講者数:190人、事業所数:98事業所(H29 開催回数1回、受講者数:228人、事業所数112事業所) ○介護保険関連施設等指導監査事業 ・実地指導 ・実地指導 ・実地指導 ・関催日数 1回(H29:1回)開催日 H31.3.25 (H29:16件) ・集団指導開催回数 1回(H29:1回)開催日 H31.3.25 (H29:750事業所)・新規介護サービス事業者等説明会開催回数 2回 (H29:2回)参加事業所数 20事業所(H29:25事業所) ○介護従事者の確保及び資質の向上の促進・介護関連職種への就業や介護従事者に対する研修等の広報あおもりでの情報提供:6件(H29:3件)		・月プ議いス導しめンは進も他の組どい ・ジ開アの図 ・等「催標で ・係携連業者修情い者資め なねし平かラの介適事を、の目まのの適がおる ケャ催マ質っ 「件集回値い 国団し職やに等報、の質た ど順で成らン実護正業行ケ点標なの介正概りこ アーにネのた 実数団数をる ・体、種介対に提介確向こ か調い30の検施サ実のっア検どか、護化ね進と マ研よジ向こ 地」指」達こ 県等介へ護す関供護保上と らにま年ケ証に一施見たプ件おっそ給の目ん ネ修りャ上と 指及導が成と ・と護の従るすを従及に 、進す10ア会伴ビ指直たラ数りたの付取標で のケーを 導び開目し 関連関就事研る行事び努 概捗。	高りがと、ラと推あ 実指し地改が。 高もに要こ材やる。	アドバイデラン 点 会 会 会 で 会 会 で 会 会 を き と 連 業 報 研 修 と を る を を で の の の の の の の の の の の の の の の の の

第4章	介護サービスの)充実	
	5-3	施策名	介護保険料収納率の向上

- <評価基準> ()内は評価の目安
 ◎ 順調に進捗している(目標とする指標の達成率80%以上)
 概ね順調に進捗している(目標とする指標の達成率60%~79%)
 △ やや進捗が遅れている(目標とする指標の達成率30%~59%)
 × 進捗が遅れている(目標とする指標の達成率29%以下)

施策 番号	主な取組	目標とする指標	平成30年度の実施内容	自己評 価結果	評価理由	課題	対応策
5-3	○介護保険料収納率 の向上	○介護保険料収納率 (介護保険料の現年度分の収納率(未還付分を含む)) <u>年度 単位 H28 H29 H30 R1 R2</u> 目標値 % 98.55 98.61 98.61 98.61 98.61 実績値 % 98.55 98.77 99.04 達成率 - 100.2% 100.4%	 介護保険料徴収事務 介護保険料の徴収については、納付お知らせセンターからの電話による納付勧奨や文書による督促や催告等を行いました。 ○介護保険料賦課事務 給付制限 ・支払方法の変更(償還払い化)(1年以上1年6ヶ月未満の滞納がある場合) 8件(H29:10件) ・保険給付の支払の一時差止(1年6ヶ月以上2年未満の滞納がある場合) 0件(H29:0件) ・給付額減額等(2年以上の滞納がある場合) 54件(H29:48件) 	©	電話催告強化により自主納付を促したこと 適正に給付	め、介護保険料収 納率の向上が求め られています。 介護保険料の収 納率は上昇傾向に ある被額等の件数が 類えていること	書には ・電子 ・電子 ・電子 ・電子 ・電子 ・電子 ・電子 ・電子